

平成 29年 09月 05日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

南部匠の暖かい家

グループの名称

南部棟梁の会

直近採択グループ番号

(グループ代表者)

代表者名	中里 利男	代表者印
代表者所属先	中里建業	
代表者所在地	岩手県九戸郡軽米町円子4-13	
代表者電話番号	0195-45-3822	

(グループ事務局)

事務局事業者名	合資会社 長谷川金物店	
事務局担当者名	國久 善隆	印
事務局郵便番号	028-6302	
事務局所在地	岩手県九戸郡軽米町軽米3-66-4	
事務局電話番号	0195-46-2040	
事務局FAX	0195-46-2460	
事務局担当者E-mail	hasegawakenzai2040@joy.ocn.ne.jp	

1. 地域型住宅の名称(必須)	南部匠の暖かい家
2. グループの名称(必須)	南部棟梁の会
3. 直近採択グループ番号(必須)	—
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	岩手県 青森県
5. 結成年(必須)	2013 年
6. グループ代表者名(必須)	中里 利男
7. グループ代表者の所属先(必須)	中里建業
8. グループ代表者所在地(必須)	岩手県九戸郡軽米町円子4-13
9. グループ代表者電話番号(必須)	0195-45-3822
10. グループ事務局事業者名(必須)	合資会社 長谷川金物店
11. グループ事務局担当者名(必須)	國久 善隆
12. グループ事務局郵便番号(必須)	028-6302
13. グループ事務局所在地(必須)	岩手県九戸郡軽米町軽米3-66-4
14. グループ事務局電話番号(必須)	0195-46-2040
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0195-46-2460
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	hasegawakenzai2040@joy.ocn.ne.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	1	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	2	
IV. プレカット	0	構成員を含まない理由が必要です。
V. 設計	4	
VI. 施工	9	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	全国	/	3	国内	
	<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国外		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国外		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	全国		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	全国		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	全国		2	国内	
	岩手県産材	岩手県		岩手県産材証明制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			2	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸	
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸	
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			2	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			1	戸	
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実		棟			
				m ²			
		申請が未確定	5	棟			
			900	m ²			
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)							
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	m ²	交付申請床面積	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部匠の暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県 青森県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 南部棟梁の会	(結成年) 2013 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	温度差40℃に達する寒冷地で過疎による高齢化・ヒートショックによる健康疎外も多く、まずH25、28住宅省エネ基準を上回る断熱・気密性を確保。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	大震災・局地豪雨の体験から、地盤調査の実施に基づく、耐震2等級クリアを目標とする。開口面が比較的大きいので当面LOEペア硝子。更にトリプル硝子サッシの推奨。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	木材資源を活かし、4寸柱の推奨、防断熱材の厚みの確保又は確実な外断熱工法も推奨する。セントラルヒーボン空調、1種交換換気の普及を図る。	○
④①～③の背景	当地域は、東日本大震災の被災地であり、省エネ基準の3地域に属する。土地の多部分を森林が占める。ヤマセの影響等、夏は比較的涼しいが真冬には-20℃に達する事もある寒冷地である。反面、降雨量は少なく、日照時間は長く窓面は比較的大きく局所暖房で熱消費量の多大な建物が多い。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	認定された乾燥施設を持つ製材所が少ないため、当面近隣地域製材所等の活用が必要。豊富な木材資源を活かす伝統的で豊かな木造住宅建設のため何としても地元域材の活用ルートを確立したい。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	会として法ごとに当面H25、28基準を満たす規格を確定していく。	
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
①-2 使用建材の統一	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
①-3 標準仕様の設定	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-1 建材・資材調達の商品化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
②-2 調達事務の合理化	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	■ 行っていない □ 行っている → 内容:	○
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容:	○
b.	現状では、会として施工基準の整備は程遠いが、建て方、断熱、設備を施主・消費者にできる限り明示していく。	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない □ ある → 内容:	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない □ ある → 内容:	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない □ ある → 内容:	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない □ ある → 内容:	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	ゼロエネ・低炭素化住宅にも目標を持って取り組む。省エネに取り組む行政との連携も図る。地域の関係団体業者との共同取組みにより地場資材活用ルートの確立を目指したい。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部匠の暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県 青森県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部棟梁の会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	会のメインの長期優良住宅の取組みで、サポート機関を活用して「いえカルテ」履歴情報を整備するよう事務局が施工会委員に必ず働きかけ実現を図る。	
①	住宅履歴情報の蓄積	○
①-1	内容・蓄積の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 事務局としても情報共有、項目の蓄積	◎
①-2	情報サービス機関の活用 □ ない ■ ある → 内容: 構成員にサポート機関会員登録の推奨	○
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 事務局で進捗のチェック	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール □ ない ■ ある → 内容: 住まい手へのわかりやすい維持管理計画を引き渡し時に行う。併せて事務局が必ずチェックする。	○
②-2	補修の共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 勉強会の開催による共通ルールの確立	○
②-3	点検補修実施の確認手法 ■ ない □ ある → 内容: 事務局の報告・集積体制の確立	○
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: 「いえカルテ」作成のための勉強会の開催(経験施工会員)。会としても体制作り。リール作り。	○
③-2	DIY体験会等の実施 ■ ない □ ある → 内容: 会としてのOB会の開催を企画、自主管理技術の講習会(網戸張替、換気設備清掃等)をリフォーム	○
③-3	その他の相談会等の実施 ■ ない □ ある → 内容:	
④	維持管理委員会等の設置 ■ ない □ ある → 内容:	
⑤	その他の維持管理の手法 □ ない □ ある → 内容:	
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール ■ ない □ ある → 内容: 地元大工組合、建築協会と協力。住まい手への情報発信。バックアップ体制強化へ施工会員の加入	○
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 ■ ない □ ある → 内容: 検討する	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 □ ない ■ ある → 内容: 1.行政の断熱講習への全施と構成員の参加(1名以上) 2.メーカー、販売業者の講習会への参加 3.国策の勉強会をサポート機関の講師を利用して開催。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール ■ ない □ ある → 内容: 策定のための経験交流会と勉強会から	○
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 ■ ない □ ある → 内容:	
③-1	需給計画の策定 ■ ない □ ある → 内容: 地域構成員の拡大と2020年に向けて全施工会員が施工経験を積む。外被計算、一次消費エネルギー	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 ■ ない □ ある → 内容: 地域の構成員の拡大と2020年に向けて全施工会員が施工経験を積む。外被計算、一次消費エネルギー	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 ■ ない □ ある → 内容:	
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 10 今年度の参加目標人数 15	◎
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 3 今年度の参加目標人数 5		◎
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組 □ ない ■ ある → 内容: 県建築士会から通知を受け構成員に連絡、人数の確定		◎
c	① 新たな技術等の導入 □ ない ■ ある → 内容: 低酸化住宅・ゼネハウスの取り組みに向けてスマートハウス等新技术勉強会の開催。	○
② 新たな技術等の開発 □ ない ■ ある → 内容: ヒーポン温水暖房、土間パイプ埋設工法の標準化、推奨		○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部匠の暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県 青森県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部棟梁の会	(結成年) 2013年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	---	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール(必須)	◎
	使用料:25㎡の場合約13㎡ 1.青森・岩手・県産材10% 2.その他の地域合法木材10% 3.合法木材(国外)80% 優先順位 1.岩手・青森県産材 2.国産材 3.合法木材(国外)とする。	
	② 地域材利用の1棟当たりの割合(必須)	
	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上	
	③ 標準的な地域材の使用部位(必須)	◎
	主要構造材 土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している 羽柄材 間柱、根太、垂木等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 造作材 枠材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している 板材 壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	
	④ 地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	
	1.山林所有者・地元森林組合→地元製材所→プレカット→施工構成員(岩手・青森県産材) 2.産地共同組合→産地製材所→プレカット→施工構成員(国産材) 3.現地法人→プレカット業者→施工構成員(合材木材)	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	
	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	①-2 地域材価格の共有の仕組	
	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
	② グループ全体における地域材の需給予測	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
c	①-1 畳の活用	○
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室が比較的多いので地域の畳屋さんとの会としての交流と協力を図る。	
	①-2 和瓦の活用	
	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 寒冷地のため瓦は適さない。	
	①-3 襖の活用	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	①-4 障子の活用	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	○
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 寒冷地の屋根のほとんどが金属で勾配が大きい。板金屋との交流・協力で特徴ある意匠。	
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 寒さの割には南側開口が比較的大きいので断熱性能のより優れたサッシの採用による取組み強化	
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	
	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
	その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○
	地元の大工組合、職業訓練校の代表、講師、役員として構成員が重要な役割を担っており、最近の住宅性能と伝統芸能技術を融合させより良い住宅住宅作りに貢献したい。	
カ. その他		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	津波等直接の被災地に近く、現状でも施工構成員が人夫、元請として度々現地で工事に携わっている。会としても積極的に信頼を得るよう全力を尽くす。	○
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 南部匠の暖かい家	(地域型住宅供給対象地域) 岩手県 青森県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 南部棟梁の会	(結成年) 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	--	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

◎当グループの認定低炭素(申請)の特徴

地元の地域材を80%以上使用(目標)。長期優良住宅(耐震・維持管理)の特徴を併せ持つ地域に根差した高性能の都市型住宅の建築を目指す。